

TOTO

システムシリーズプロアキャビネット施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⊘ このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

警告

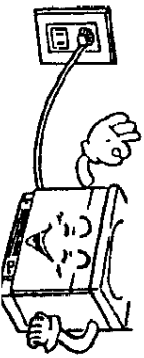
電気配線工事・給排水工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者・業者」が行ってください

火災や感電及び漏水の原因になります。



アース工事を行ってください (D種接地工事)

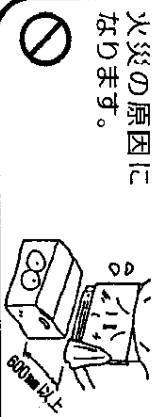
漏電により感電するおそれがあります。



警告

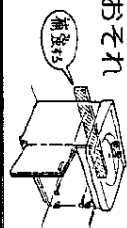
本体前面に物を置かないでください
(足元温風機付のみ)

火災の原因になります。



壁固定ねじ取付位置に棧を入れて補強してください

キャビネットが転倒しケガをするおそれがあります。



注意

湯・水を逆に配管しないでください

水側でいきなり湯が出て、火傷をするおそれがあります。



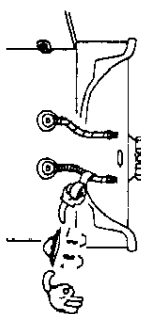
工事完了後、給排水管から漏水がないかを必ず確認してください

漏水を起こすと、家財等に損害を与えらるおそれがあります。



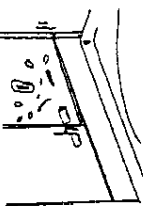
凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください

凍結破損で漏水し家財等に損害を与えるおそれがあります。



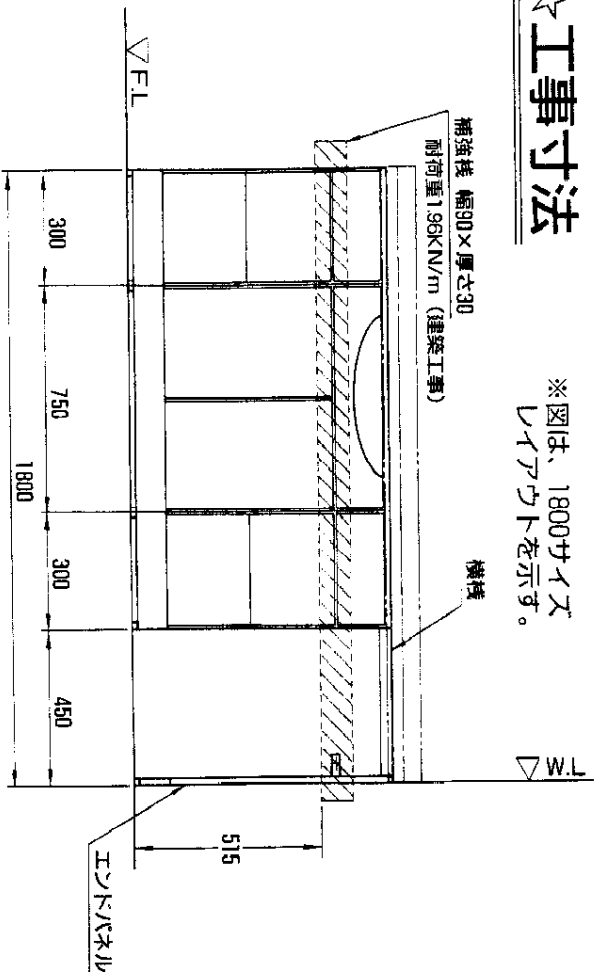
工事完了後、キャビネットの固定・扉の痕き・カッター・丁番のゆるみがないかを必ず確認してください

使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。



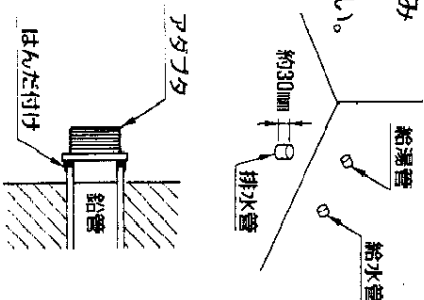
☆工事寸法

※図は、1800サイズ
レイアウトを示す。



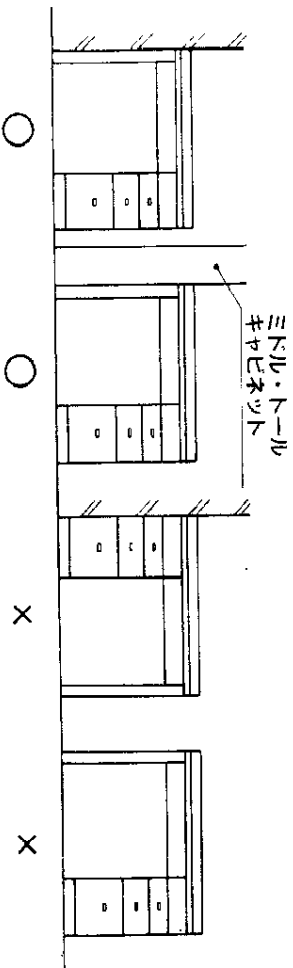
☆取付前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に補強桎を入れてください。
(壁面に補強桎が取付けられない場合は、前面に厚み12mm以上の板を強固に取付けてください。)
- 給水・給湯管・排水管を所定の位置に取出してください。
ストラップの場合
仕上げ面より約30mm立上げてください。
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)
- Pトラップの場合
あらかじめ別途購入された排水金具用アダプタをはんだ付けしてください。
※排水管と仕上げ面の取出し穴にすぎまがある場合は、メジナールでシールしてください。
- キャビネットの壁固定部分には、壁面に補強桎を入れてください。



☆設置上の注意

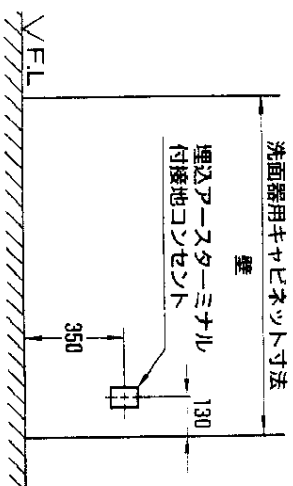
- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置はしないでください。
特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- エントパネルは下図のように壁側又はミドル・ツールキャビネット側に取付けてください。



☆あらかじめ必要な電気工事

(必ず電気工事店にて
工事してください。)

- ※足元温風機付タイマの場合、あらかじめ下記のような電気工事を行ってください。
- 電源は、交流100V (50/60Hz)、温風機消費電力485Wに適した配線をしてください。
- ※総消費電力が2000Wを超える場合は別配線を引いてください。
- 漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。(D種接地工事)
- 埋込アースターミナル付接地コンセントを所定の位置に取付けてください。



☆付属部品明細

●フロアキャビネット

品名	フロアキャビネット				洗面器用フロアキャビネット			
	150サイズ	300サイズ	450サイズ	600サイズ	ML01, 750~900	ML05, 750~900	ML03, 1000~1200	
壁固定用木ねじ	ML01 タイフ 1本	ML05 タイフ 1本	扉引出 タイフ 2本	扉引出 タイフ 2本	ML01 タイフ 2本	ML05 タイフ 2本	ML03 タイフ 2本	
連結用木ねじ	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	
上下連結用木ねじ	2本	2本	4本	4本	4本	4本	4本	
カウンタース固定用木ねじ					4本	4本	4本	
カウンタース固定金具					2個	2個	2個	
仕切板	2個	4個						
固定金具			2個	2個	4個			
ヘルヌメーカー			2個	2個				
足元温風機			1台			1台		
取扱説明書・保証書			1冊		1冊	1冊	1冊	

●エンドパネル

名	称	数量
1	〔壁 カウンタース〕固定金具	2個
2	床固定金具	1個
3	固定金具用木ねじ(φ4.5×16)	2本
4	床固定金具用化粧木ねじ(φ4.5×16)	2本
5	〔壁 カウンタース〕固定用木ねじ(φ4.5×35)	2本
6	床固定化粧木ねじ(φ5.0×25)	2本

●横棧

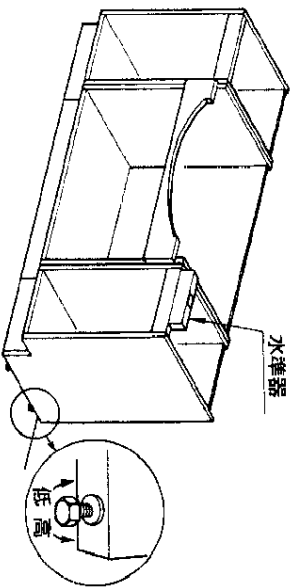
名	称	数量
1	横棧固定金具	2個
2	固定金具用木ねじ(φ4.5×16)	4本

品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量
床固定用木ねじ	2本	給水ふた	2個	扉引出	2本	扉引出	2本
床固定金具用化粧木ねじ	4本	排水ふた	1個	ML01 タイフ	2本	ML05 タイフ	2本
床固定化粧木ねじ	4本	防臭栓	1個	足元温風機付	2本	足元温風機付	2本
化粧キヤッツ	2個	ふた用木ねじ	7本	1冊	1冊	1冊	1冊
		幕板カバー	11本	4本	4本	4本	4本
		幕板カバー固定ねじ	1個	2個	2個	2個	2個
		すきまパッキン	5本	1個	1個	1個	1個
		コンセントふた	1個	1個	1個	1個	1個
		ご愛用のしおり	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊
		スライドラック (1000のみ)	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊
		トレー (1000のみ)					

☆取付要領

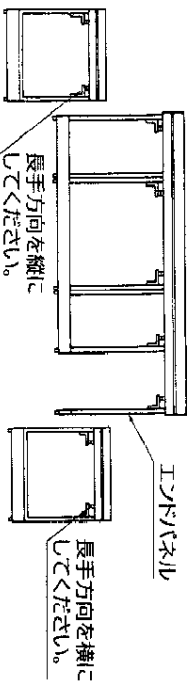
①キャビネットの仮置き

- レリアウトに沿ってキャビネットを仮置きしてください。(その際、アジヤスターを調整して水平を水準器で確認してください。)



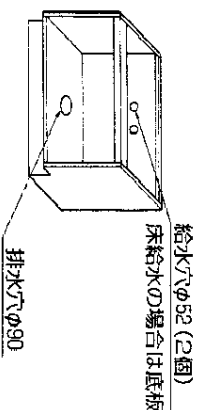
②カウンター固定金具の取付け

- カウンターを仮置きし、カウンター裏面についている補強様に合わせて、カウンター固定金具をキャビネット側板内面の下穴位置に取付けてください。
※カウンター固定用アングルは750サイズ洗面器用キャビネットに取付ける場合のみ長手方向を縦にしてください。(但し、150サイズフロアキャビネットにはカウンター固定) (金具は、あらかじめセットされていますので取付不要です。)



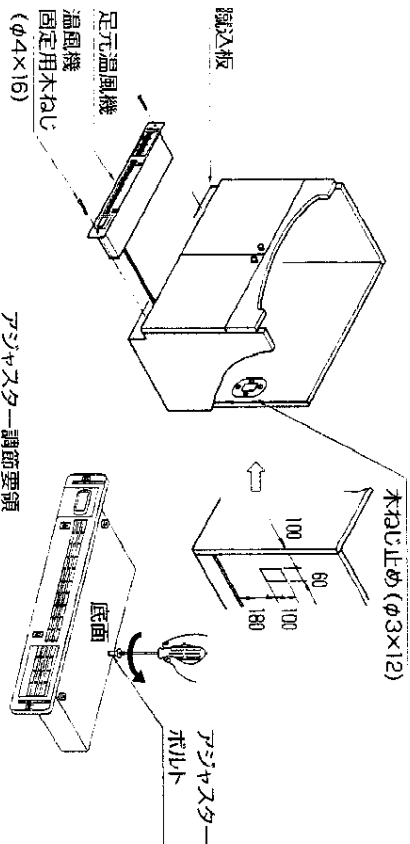
③洗面器用フロアキャビネットの給・排水穴あけ

- 洗面器用キャビネットは現場の給・排水位置に合わせて給・排水穴をあけてください。
穴あけは自由キリを使うと便利です。



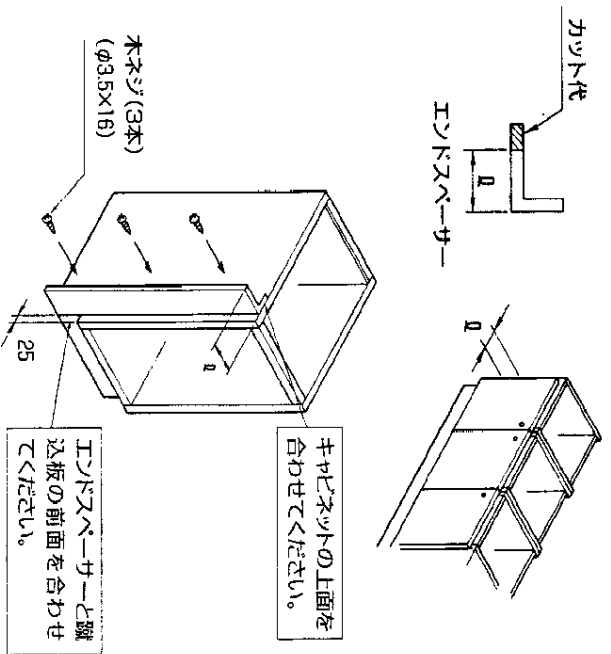
④足元温風機の取付け (足元温風機付のみ)

- コンセント位置に合わせて (縦100mm横60mm) をあけてください。
- コンセント穴に付属のコンセントふたを木ねじで固定してください。
- 足元温風機底のアジヤスターボルト (3本) を調節してキャビネットのアジヤスター高さ (標準14mm) にあわせてください。
- 足元温風機を付属の木ねじで蹴込板に固定してください。
※温風機用コード及びブレーズ線をあらかじめ排水穴よりキャビネット内に引き出しておいてください。



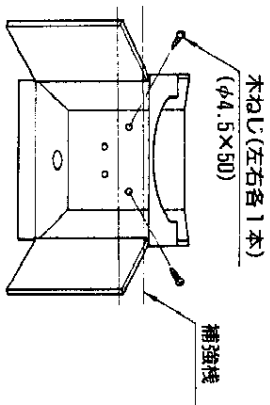
⑤エンブスパーサーの取付け (別売品)

- レリアウトによりエンブスパーサーが必要な場合は、次の要領でエンブスパーサーを取付けてください。
- フロア用エンブスパーサー：
LEJ25NB
(1)エンブスパーサーを取付けるキャビネットを所定の位置に仮固定してください。
- (2)壁との隙間 \varnothing 寸法を測定し、エンブスパーサーを \varnothing 寸法にカットしてください。
- ※ \varnothing 寸法は最大25mmです。
- ※エンブスパーサーはカット又は万能ノコギリでカット可能です。
- (3)仮固定したキャビネットを取外しカットしたエンブスパーサーをキャビネット側面にエンブスパーサー用木ねじで取付けてください。

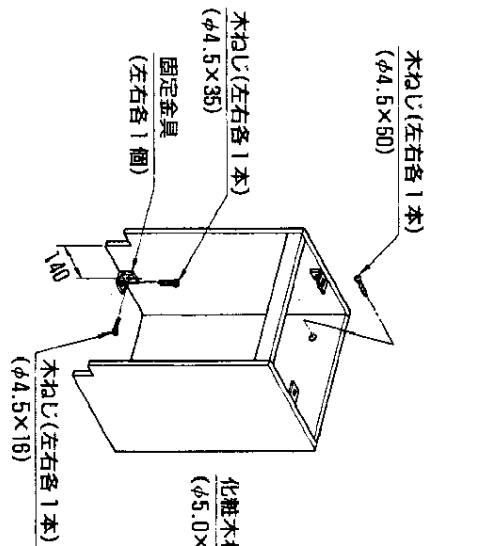
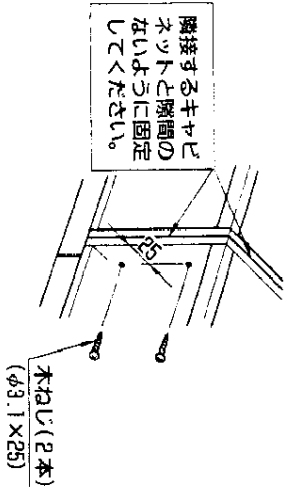


⑥ キャビネットの取付け

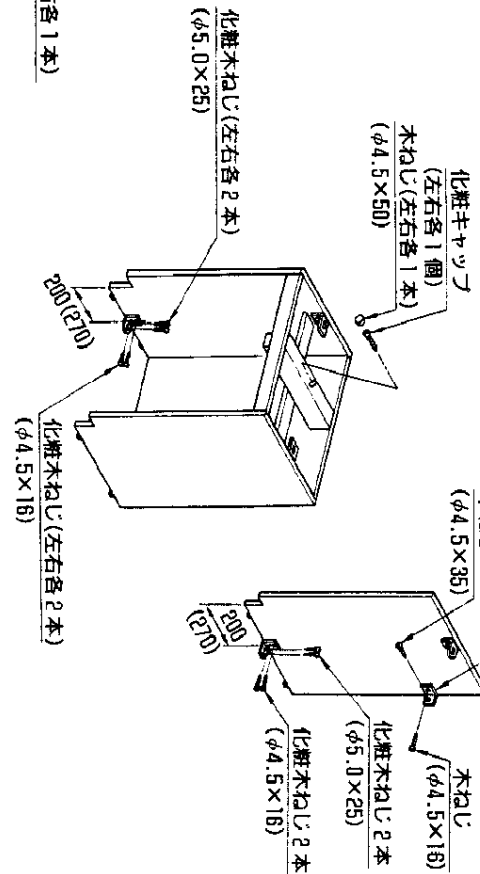
- 付属の木ねじで壁及び床に固定して下さい。
- ※ タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。



- キャビネットの内側より連結用木ねじで隣接するキャビネットと2カ所固定してください。



〈ワゴンキャビネットの場合〉

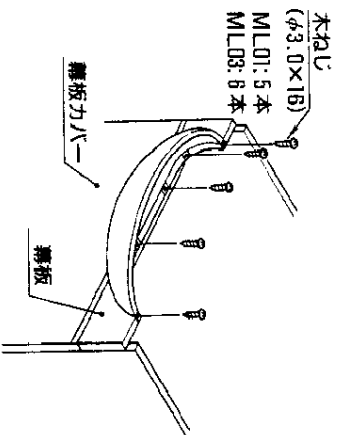


〈ツール用キャビネットの場合〉 〈エンドパネルの場合〉

※ () 寸法の取付位置は、ストレータイプを示す。

⑦ 幕板カバーの取付け

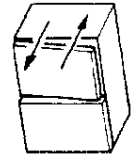
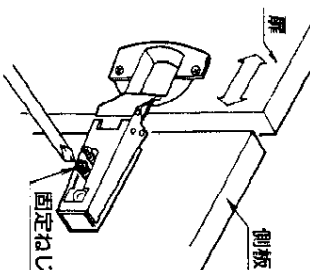
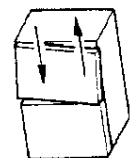
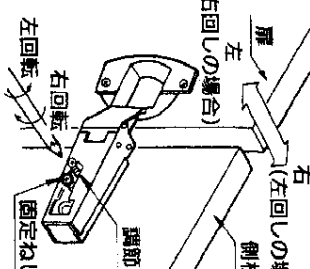
- ML01 (異形カウンタター)・ML03 (ツインボール用異形カウンタター) 専用洗面器用フロアキャビネットは同梱の幕板カバーを木ねじで幕板に固定してください。
- 幕板と幕板カバーにすぎ間が生じないように、固定してください。



⑧扉の調整方法

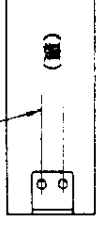
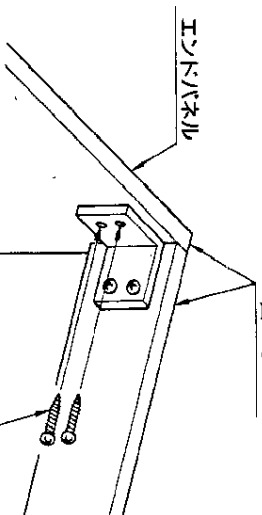
- 扉の調整は次の要領で行ってください。

調整後固定ねじをしっかり締めつけてゆるみのないことを確認してください。
締めつけていない場合は、扉が外れるおそれがあります。

<p>(1)扉の前後調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ●固定ねじをゆるめて前後調整した後、締め直してください。 	
<p>(2)扉の左右調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調整ねじを回して左右調整してください。 	

⑩横棧の取付け

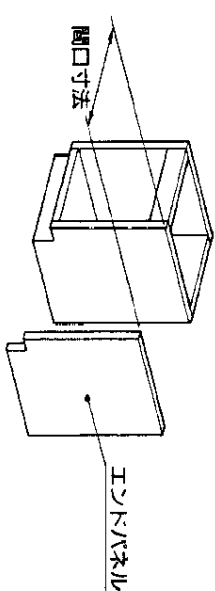
- 横棧のケガキ線に合わせて取付金具を木ねじで所定の位置に取付けてください。

 <p>(裏)</p> <p>ケガキ線に合わせて</p> <p>取付金具</p> <p>木ねじ(左右各2本) (φ4.5×16)</p> <p>面一のこと</p>	 <p>面一のこと</p> <p>エンドパネル</p> <p>木ねじ(左右各2本) (φ4.5×16)</p>
--	---

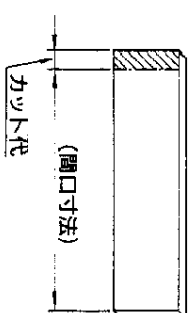
- 横棧を左右キャビネットに木ねじで所定の位置に固定してください。

⑨横棧のカット

- 横棧を取付けるフロアキャビネット間の間口寸法を測定してください。



- 間口寸法に合わせて横棧をカットしてください。

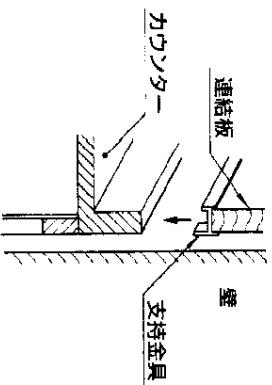
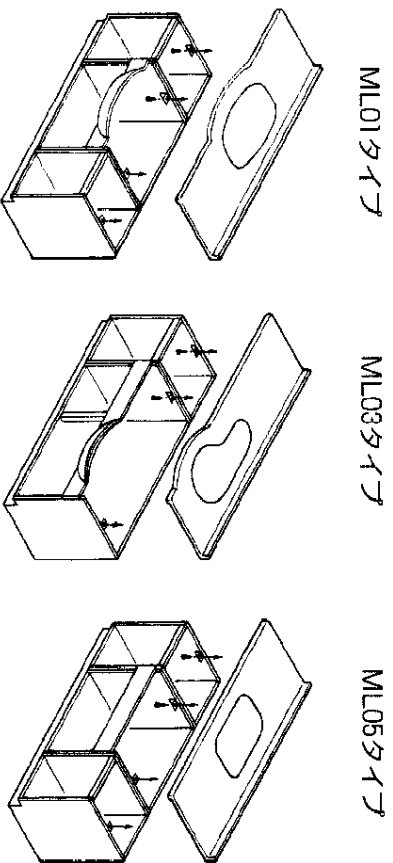


⑪洗面器の取付け

- 洗面器の取付けについては、カウンタート下同梱されている「取付説明書」をご参照ください。

12 カウンターの取付け

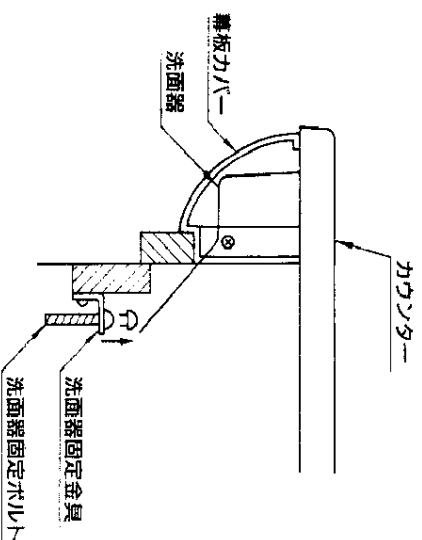
- カウンターを設置し、フロアキャビネット内側から木ねじ（フロアキャビネットに付属しています）で固定してください。
- （ニスペーパー板もセットされる場合には、ニスペーパー板の取付けが、完了してからカウンターを取付けてください。
- 連結板がつく場合は、支持金具をカウンターと壁の間に差し込んでカウンターを固定してください。



※支持金具をカウンターと壁の間に差し込む際力
ウンターを傷つけないように注意してください。

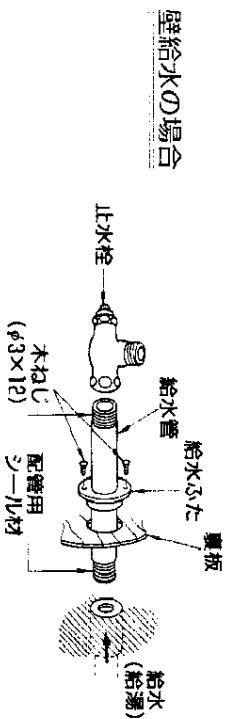
13 洗面器固定ボルトの調整

- カウンターを設置した後、洗面器固定ボルトを⊕ドライバー押し上げ洗面器に軽く当たるように調整してください。

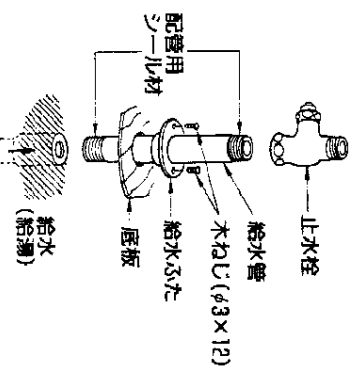


14 止水栓の取付け

- 止水栓は工具で十分に締付けてください。



床給水の場合

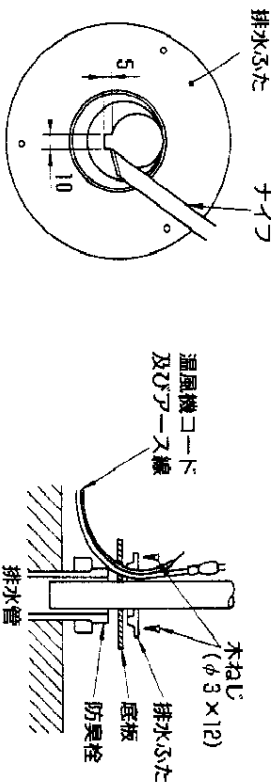
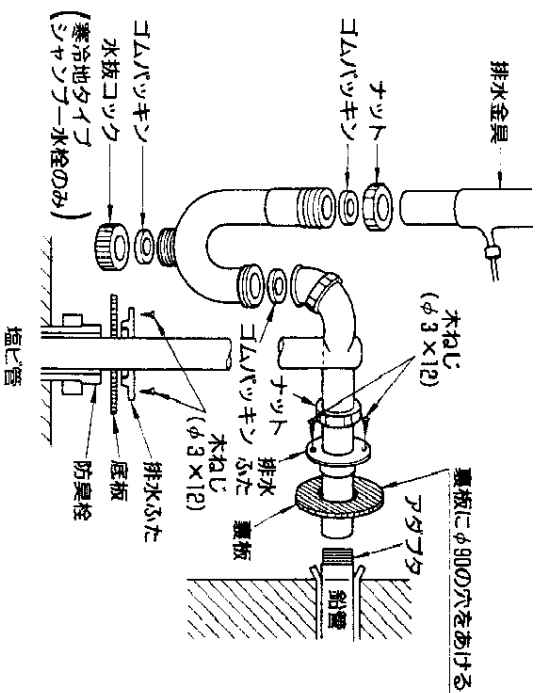


15 水栓金具の取付け

- 水栓金具の取付けについては、水栓金具に同梱されている施工説明書をご参照ください。

⑩排水トラップの取付け

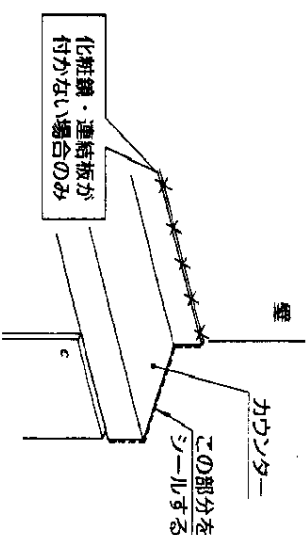
- ストラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込んでください。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップをアダプタ（別売 T1122 〈R11/4〉）で確実に接続してください。



※足元温風機付タイフの場合、排水ふたに温風機コート用の切欠きを裏面よりナイフなどでカットしてください。

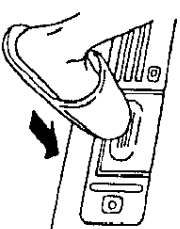
⑪壁との処理方法

- カウンタートと壁の突合わせ部をメジール（YG902S）にてシールしてください。



⑫フースの接続と通電確認(足元温風機付のみ)

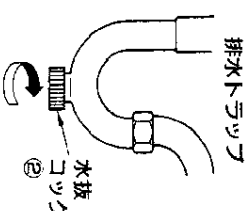
- (1)フース線をフースターミナルに接続してください。
- (2)通電確認を次に方法で行ってください。
 - ①温風機の差込プラグを100V用コンセントに差し込み温風機のフットスイッチを軽く押してください。運転ランプが点灯し、温風が出るで正常です。
 - ②温風機のフットスイッチを再度押すと電源が切れ、温風が止まり運転ランプが消えます。
 - ③設置後、長期間使用しない場合は、差込プラグを抜いてください。



☆寒冷地タイフの水抜き方法

- 寒冷地タイフの場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けておきます。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜き操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

- ＜水抜き手順＞
- ①水栓金具の水抜き（水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。）
 - ②排水トラップの水抜コックを開いてください。
 - ※水抜き後は、必ず水抜コックを強く締めてください。



☆取付完了後の確認と清掃

- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- キヤビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。
- 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたきしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にかたきしぼってください。
- シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

※同梱の取扱説明書及び保証書は、必ずお客様さまにお渡しください。手渡しできない場合は、工事完了後洗面器内においてください。